

平成26年10月24日  
独立行政法人理化学研究所  
理事長 野依 良治

独立行政法人理化学研究所における平成25年度動物実験実施状況等に係る  
自己点検・評価について

研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（文部科学省告示第71号）（以下「基本指針」と言う。）を踏まえ、当研究所における規程等の整備状況及び平成25年度動物実験実施状況等について同基本指針への適合性の観点から自己点検を行った結果、下記のように評価しました。

記

1. 規程類については、いずれも基本指針に適合していることを確認し、適正であると評価した。
2. 平成25年度中に各事業所で提出された実験計画申請及び動物実験報告は、各審査委員会において審議、確認を受け各事業所長により承認等されていることを確認し、概ね適正であると評価した。【別紙1】  
神戸第1地区において規程に定められた手続きを経ずに動物実験が実施されたことが確認されたため、一部不適正と評価した。【別紙2】
3. 平成25年度中に各事業所で提出された施設の登録申請及び飼育管理報告は、各審査委員会において審議、確認を受け各研究所長により承認等されていることを確認し、適正であると評価した。【別紙3】
4. 平成25年度中に各事業所で実施された動物実験従事者等の教育講習及び登録は、各地区の動物実験監督者の報告から、いずれも適切に履行されていることを確認し、適正であると評価した。【別紙4】
5. 平成25年度の各動物実験審査委員会の構成は、基本指針に適合していると判断し、適正であると評価した。【別紙5】

6. 平成24年度動物実験実施状況等に係る自己点検・評価を踏まえ、各事業所において、点検評価結果に基づいた教育内容の充実や、動物福祉の面から十分に検討した申請書の記載を促すなど、より適正な動物実験を実施するために必要と考えられる対応を行った。
7. 神戸第1地区における手続き上の不備を踏まえ、各動物実験計画の実施に関する業務を統括する立場である動物実験責任者に対し、問題事例の情報共有、「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」及び所内規程の再周知、徹底を行うとともに、動物実験に携わる者に対しても、3Rを主とした関連指針等及び所内規程の再周知を行い、適正な動物実験を実施するために必要な措置を講じていくよう努める。

以上

#### 参考

1. 動物実験協議会協議員一覧
2. 平成25年度動物使用数

平成25年度動物実験に係る実験計画の審査及び実施状況

1. 審査状況

(平成25年4月1日～平成26年3月31日実施分)

事業所	実施日	審査の別 開催/書面	実験計画審査件数			審査結果			所長により承認された件数
			新規	継続	変更	可とされた件数	修正・確認の上、可とされた件数	不可とされた件数	
和光事業所	H25. 4. 24	書面	1		7	8	0	0	8
	H25. 5. 22	書面	6		9	13	2	0	15
	H25. 6. 28	開催	0		7	7	0	0	7
	H25. 7. 17	書面	0		1	1	0	0	1
	H25. 7. 19	書面	0		1	1	0	0	1
	H25. 7. 23	書面	2		2	3	1	0	4
	H25. 8. 22	書面	1		5	5	1	0	6
	H25. 9. 26	書面	0		3	3	0	0	3
	H25. 9. 26	書面	1		4	4	1	0	5
	H25. 10. 7	書面	0		1	1	0	0	1
	H25. 10. 23	書面	0		7	7	0	0	7
	H25. 11. 12	書面	0		4	4	0	0	4
	H25. 11. 21	書面	0		1	1	0	0	1
	H25. 12. 12	書面	0		3	1	2	0	3
	H26. 1. 27	書面	0		4	4	0	0	4
	H26. 2. 26	開催	3	24	7	32	2	0	34
	H26. 3. 4	書面	0		1	1	0	0	1
H26. 3. 20	書面	1		5	6	0	0	6	
合計			15	24	72	102	9	0	111
播磨事業所 (和光動物実験審査委員会が所掌)	H26. 2. 26	開催	1	0	0	1	0	0	1
	合計		1	0	0	1	0	0	1
筑波事業所	H25. 6. 18	開催	15	0	0	15	0	0	15
	H26. 3. 13	書面	0	0	5	5	0	0	5
	合計		15	0	5	20	0	0	20
横浜事業所	H25. 4. 16	書面	0		3	3	0	0	3
	H25. 5. 10	書面	1		1	1	1	0	2
	H25. 5. 24	書面	0		2	0	2	0	2
	H25. 5. 29	書面	2		0	0	2	0	2
	H25. 6. 19	開催	1		3	4	0	0	4
	H25. 7. 18	書面	0		2	0	2	0	2
	H25. 8. 6	書面	0		1	0	1	0	1
	H25. 8. 30	書面	0		1	1	0	0	1
	H25. 9. 17	書面	1		1	0	2	0	2
	H25. 10. 17	書面	0		1	1	0	0	1
	H25. 11. 5	書面	0		2	0	2	0	2
	H25. 11. 25	書面	0		3	1	2	0	3
	H25. 11. 26	書面	0		1	1	0	0	1
	H25. 12. 16	書面	0		2	0	2	0	2
	H25. 12. 25	書面	0		2	1	1	0	2
	H26. 1. 10	書面	0		3	1	2	0	3
	H26. 1. 15	書面	0		1	1	0	0	1
	H26. 1. 17	書面	0		1	0	1	0	1
	H26. 1. 21	書面	0		1	1	0	0	1
	H26. 2. 6	書面	0		2	0	2	0	2
H26. 2. 28	開催	0		3	2	1	0	3	
H26. 3. 5	開催	0	27	0	16	11	0	27	
H26. 3. 12	書面	1		0	0	1	0	1	
合計			6	27	36	34	35	0	69
神戸事業所	H25. 4. 25	書面	1		3	2	2	0	4
	H25. 5. 10	書面	1		1	1	1	0	2
	H25. 6. 21	書面	0		5	1	4	0	5
	H25. 7. 9	書面	0		1	1	0	0	1
	H25. 8. 29	書面	2		4	3	3	0	6
	H25. 9. 30	書面	0		2	0	2	0	2
	H25. 10. 31	書面	0		4	1	3	0	4
	H25. 12. 2	書面	0		1	0	1	0	1
	H25. 12. 2	書面	2		1	1	2	0	3
	H25. 12. 16	書面	0		3	1	2	0	3
	H26. 1. 10	書面	0		2	1	1	0	2
	H26. 1. 25	書面	2		1	2	1	0	3
	H26. 2. 21	書面	0		2	2	0	0	2
	H26. 3. 17	書面	1	48	3	44	8	0	52
	合計			9	48	33	60	30	0
総合計			46	99	146	217	74	0	291

2. 実施状況

地区	所長により承認された実験計画数	規程に基づき提出された報告書数	適正に実施されたと認められた報告書の件数	改善を要した件数
和光地区	106	106	106	0
播磨地区	2	2	2	0
筑波地区	15	15	15	0
横浜地区	43	43	43	0
神戸第1地区	85	85	85	0
総合計	251	251	251	0

動物実験に係る実験計画の審査及び実施状況について点検を行った結果、以上の通りであることを確認した。

※苦痛度については『動物実験処置の苦痛分類』動物実験協議会確認事項（平成18年12月8日）に基づき審査・承認。

神戸第1地区において実施状況が一部不適正と評価された  
動物実験実施計画について

STAP 細胞論文に関係する一部の動物実験について、下記のとおり、適正な手続きを経ずに実施されていたことが判明しましたので、動物実験計画の実施状況を不適正と評価しました。

経緯

- 2014年1月29日 STAP 細胞論文のプレスリリース
- 2014年2月13日 STAP 細胞論文に関する疑義を受け、研究論文の疑義に関する調査委員会が予備調査を開始
- 2014年3月下旬 神戸第1地区（CDB）動物実験監督者により、関係者の動物実験実施状況の点検を実施
- 2014年3月31日 調査委員会の報告により STAP 細胞論文に関する不正を認定
- 2014年4月17日 動物実験監督者による動物実験責任者への問い合わせを経て、実験責任者が動物実験従事者届（修正届：従事者の追加）及び動物実験報告書（修正含む）を提出
- 2014年7月16日 神戸動物実験審査委員会にて、上記報告書の適否を審議

神戸動物実験審査委員会の判断

当該動物実験報告書（修正含む）に示された動物実験の実施内容は、苦痛度区分及び使用動物数については計画の範囲内であったが、実験目的及び概要の変更は、STAP 細胞に関わる新規計画として、あらかじめ申請手続きを執った上で実施する必要があったと判断した。

以上

## 平成25年度動物実験に係る施設の審査及び飼育施設の管理状況

## 1. 審査状況

(平成25年4月1日～平成26年3月31日実施分)

研究所	実施日	審査の別 開催/書面	施設審査件数		審査結果			所長により承認された件数
			新規	変更	可とされた件数	修正・確認の上、可とされた件数	不可とされた件数	
和光事業所	H25. 4. 24	書面	0	1	1	0	0	1
	H25. 5. 22	書面	1	2	3	0	0	3
	H25. 6. 28	開催	0	1	1	0	0	1
	H25. 7. 23	書面	0	1	1	0	0	1
	H25. 8. 22	書面	1	0	1	0	0	1
	H25. 9. 26	書面	3	2	5	0	0	5
	H25. 10. 23	書面	0	1	1	0	0	1
	H25. 11. 12	書面	2	0	2	0	0	2
	H25. 12. 12	書面	1	0	1	0	0	1
	H26. 1. 27	書面	4	1	5	0	0	5
H26. 2. 26	開催	0	19	19	0	0	19	
H26. 3. 20	書面	4	2	6	0	0	6	
合計			16	30	46	0	0	46
播磨事業所	H25. 4. 24	書面	2	0	2	0	0	2
	H26. 2. 26	開催	2	0	2	0	0	2
	合計		4	0	4	0	0	4
筑波事業所	該当なし							
	合計							
横浜事業所	H25. 4. 5	書面	1	0	1	0	0	1
	H25. 4. 16	書面	0	1	1	0	0	1
	H25. 5. 23	書面	2	0	2	0	0	2
	H25. 8. 30	書面	1	0	1	0	0	1
	H25. 9. 20	書面	1	0	1	0	0	1
	H25. 10. 17	書面	1	0	1	0	0	1
	H26. 3. 18	書面	0	8	8	0	0	8
合計		6	9	15	0	0	15	
神戸事業所	H25. 6. 21	書面	5	0	5	0	0	5
	H25. 7. 9	書面	0	1	1	0	0	1
	H25. 8. 29	書面	1	4	4	1	0	5
	H25. 10. 31	書面	1	0	1	0	0	1
	H25. 12. 2	書面	0	2	2	0	0	2
	H25. 12. 2	書面	0	1	1	0	0	1
	H26. 1. 25	書面	1	0	1	0	0	1
合計		8	8	15	1	0	16	
総合計			34	47	80	1	0	81

## 2. 飼育施設の管理状況

地区	所長により承認されていた飼育施設数	規程に基づき提出された報告書数	適正に管理されたと認められた報告書の件数	改善を要した件数
和光地区	22	22	22	0
播磨地区				
筑波地区	6	6	6	0
横浜地区	4	4	4	0
神戸第1地区	5	5	5	0
計	37	37	37	0

※『実験動物の「飼育」、「保管」、「実験」施設に関わる要件(ガイドライン)』動物実験協議会確認事項(平成19年11月2日)に基づき審査・承認。

## 平成25年度教育訓練実施状況

(平成25年4月1日～平成26年3月31日実施分)

地区	対象者	実施回数	参加者数	内 容	主催・担当
和光地区	新規登録予定者	20	96	動物実験実施規程第27条の規定に基づく講習	動物実験監督者 和光安全管理室
	新規登録予定者 (外国人)	22	58	①動物福祉に関する事項 ②安全確保に関する事項 ③その他動物実験及び実験動物の取扱に関する基本的事項	
	既登録者	1	596	(再教育訓練として) 動物実験基本指針並びに動物愛護管理法、 動物実験の適正な実施、及び自己点検評価に関する事項	
	合計	43	750		
播磨地区	新規登録予定者	2	9	動物実験実施規程第27条の規定に基づく講習	動物実験監督者 播磨安全管理室
	既登録者	1	5	(再教育訓練として) 動物実験基本指針並びに動物愛護管理法、 動物実験の適正な実施、及び自己点検評価に関する事項	
	合計	3	14		
筑波地区	新規登録予定者	11	21	①動物実験・実験動物に係る国内法令等 ②動物実験に係る所内規程と手続き ③動物実験における倫理規範	動物実験監督者 実験動物開発室長 飼育管理者 健康管理室 筑波安全管理室
	新規登録予定者 (外国人)	5	8	④自己点検・評価結果を踏まえた動物実験計画立案等及び災害時対応について ⑤マウス咬傷事故防止および咬傷事故発生時の対応について ⑥動物実験手技	
	再教育訓練(実験従事者・飼育技術者全員)[ビデオ講習、英語版資料配付による講習を含む]	1	213	①動物実験の基本と関連法等 ②平成24年度自己点検・評価結果及び自己点検・評価結果を踏まえた動物実験計画立案等について ③作業時の安全対策について ④遺伝子組換え生物等の取扱いに関する注意喚起 ⑤動物実験を行う上での健康管理	
	合計	17	256		
横浜地区	新規登録予定者	13	87	①動物福祉に関する事項 ②安全確保に関する事項	動物実験監督者 横浜安全管理室
	新規登録予定者 (外国人)	6	6	③その他動物実験及び実験動物の取扱に関する基本的事項	各研究チーム等の所属 長他 横浜安全管理室
	再教育訓練(実験従事者・飼育技術者全員)	1	309	①動物福祉に関する事項	動物実験監督者 横浜安全管理室
	合計	20	402		
神戸第1地区	CDB、QBic新規登録予定者	32	71		CDB動物実験監督者 神戸安全管理室 飼育管理者 動物資源開発室
	CDB、QBic再教育訓練 (実験従事者・飼育技術者全員)[ビデオ講習、ビデオ配布による講習を含む]	1	249	①規程等について ②動物福祉に関する事項 ③安全確保に関する事項	
	CLST新規登録予定者	10	25	④その他動物実験及び実験動物の取扱に関する基本的事項(飼育マニュアル)	
	CLST再教育訓練 (実験従事者・飼育技術者全員)[ビデオ講習、ビデオ配布による講習を含む]	1	60	⑤感染症コントロールについて	
	合計	44	405		
総合計		127	1827		

## 平成25年度動物実験従事者／飼育技術者登録状況

(平成26年3月31日現在)

地区	登録者数	内訳	
		実験従事者	飼育技術者
和光地区	672	607	65
播磨地区	21	21	
筑波地区	214	143	71
横浜地区	295	270	25
神戸第1地区	382	353	29
合計	1,584	1,394	190

## 平成25年度 動物実験審査委員会委員

(平成26年3月31日現在)

事業所	構成	氏名	備考
和光事業所 (播磨事業所分も所管)	和光地区の動物実験監督者	板倉 智敏	BSI 研究基盤センター センター長
	和光事業所長が委嘱する研究所外の者 2名以内 (2事業年度以内)	吉川 泰弘	千葉科学大学 副学長
		布谷 鉄夫	一般財団法人 日本生物科学研究所 常務理事
	和光事業所長が指名する研究所内の者 5名以内 (2事業年度以内)	中山 明子	産業医
		小嶋 聡一	CLST 微量シグナル制御技術開発特別ユニット 特別UL
		加藤 忠史	BSI 精神疾患動態研究チーム TL
		糸原 重美	BSI 行動遺伝学技術開発チーム TL
		高橋 英機	BSI 動物資源開発支援ユニット UL
研究支援部長	船田 孝司		
安全管理室長	篠原 茂己		
筑波事業所	筑波地区の動物実験監督者	阿部 訓也	BRC 疾患ゲノム動態解析技術開発チーム TL
	筑波事業所長が委嘱する研究所外の者 2名以内 (2事業年度以内)	八神 健一	筑波大学 生命科学動物資源センター 教授
		小泉 邦男	つくば市環境生活部 次長
	筑波事業所長が指名する研究所内の者 5名以内 (2事業年度以内)	小倉 淳郎	BRC 遺伝子工学基盤技術室 室長
		小林 喜美男	BRC マウス表現型解析開発チーム 開発技師
		吉木 淳	BRC 実験動物開発室 室長
		若菜 茂晴	BRC マウス表現型解析開発チーム TL
	研究支援部長	今泉 洋	
安全管理室長	田口 一徳		
横浜事業所	横浜地区の動物実験監督者	古関 明彦	IMS 免疫器官形成研究グループ GD
	横浜事業所長が委嘱する研究所外の者 2名以内 (2事業年度以内)	伊藤 勇夫	独立行政法人 宇宙航空研究開発機構 アドバイザ
		國田 智	学校法人 自治医科大学 教授
	横浜事業所長が指名する研究所内の者 5名以内 (2事業年度以内)	野呂 行彦	CLST 機能性ゲノム解析部門 ゲノム資源解析ユニット UL
		山崎 慶子	IMS 基盤技術開発研究グループ 研究員
		岩野 はるか	IMS 免疫細胞システム研究グループ 上級研究員
		長谷川 孝徳	IMS 免疫器官形成研究グループ 上級技師
	研究支援部長	岩田 伸一	
安全管理室長	山本 行彦		
神戸事業所	神戸第1地区(CDB)の動物実験監督者	古田 泰秀	CDB 動物資源開発室 室長
	神戸第1地区(CLST)の動物実験監督者	尾上 浩隆	CLST イメージング機能研究グループ GD
	神戸事業所長が委嘱する研究所外の者 2名以内 (2事業年度以内)	饗場 篤	東京大学大学院 医学系研究科 教授
		鍵山 直子	公益財団法人実験動物中央研究所 理事
	神戸事業所長が指名する研究所内の者 5名以内 (2事業年度以内)	今井 猛	CDB 感覚神経回路形成研究チーム TL
		漕成 寛	CDB 動物実験支援ユニット UL
		崔 翼龍	CLST 分子動態イメージング研究ユニット UL
		中尾 和貴	CDB 動物実験支援ユニット 研究嘱託
		森本 充	CDB 呼吸器形成研究チーム TL
	研究支援部長	木村 彰	
安全管理室長	片山 敦		



## 平成25年度 動物実験協議会協議員名簿

(平成26年3月31日現在)

	氏名	職名	所属
議長	古屋 輝夫	理事(安全管理担当)	理研
(1) 動物実験監督者	板倉 智敏	研究基盤センター センター長	理研 脳科学総合研究センター
	阿部 訓也	副センター長	理研 バイオリソースセンター
	古関 明彦	免疫器官形成研究グループ グループ ディレクター	理研 統合生命医科学研究セン ター
	古田 泰秀	動物資源開発室 室長	理研 発生・再生科学総合研究 センター
	尾上 浩隆	分子プローブ機能評価研究チーム チームリーダー	理研 ライフサイエンス技術基 盤研究センター
(2) 動物実験審査委員会 委員(前号のものを除く) のうちから所長が推薦す るもの 各1名	小嶋 聡一	分子リガンド生物研究チーム チーム リーダー	理研 ライフサイエンス技術基 盤研究センター
	八神 健一	生命科学動物資源センター 教授	国立大学法人 筑波大学
	伊藤 勇夫	アドバイザー	独立行政法人宇宙航空研究開 発機構
	鍵山 直子	理事	公益財団法人 実験動物中央研 究所
(3) 研究所内外の有識者 等のうちから、理事長が 指名又は委嘱する者 4名 以内	島田 壽子	弁護士	矢島匡法律事務所
	林 良博	館長	独立行政法人国立科学博物館
	小幡 裕一	センター長	理研 バイオリソースセンター
	矢野 栄二	産業医	理研
(4) 総務部長	宍戸 博	部長	総務部
(5) 人事部長	堤 精史	部長	人事部
(6) 安全管理室長	宮川 眞言	室長	安全管理室

## 【参考2】

## 平成25年度実験動物使用数

(集計期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日)

マウス	ラット	ウサギ	スンクス	フェレット	ネコ	サル (マカク)	サル (マーモセット)	ハイイロ ジネズミ オポッサム	フィンチ 等の鳥類	爬虫類
526,113	9,569	109	85	45	1	45	70	77	187	760

・数字は、実験計画を遂行する過程で安楽死処置した動物の数